

MONTHLY

神變別冊

宗派だより

令和6年11月号



令和六年十一月六日発行

発行所 真言宗醍醐派宗務本庁

京都市伏見区

醍醐東大路町二十二

電話 〇七五―五七―一〇〇〇二

FAX 〇七五―五七―一〇〇〇二

今月の掲載内容

- ・醍醐寺開創千百五十年慶讃大法要 1
- ・録事 2
- ・宗派だより 3
- ・末寺・教会・醍醐寺だより 3
- ・本庁からのお知らせ 3
- ・醍醐寺からのお知らせ 3

醍醐寺開創千百五十年慶讃大法要

貞観十六年（八七四）聖宝理源大師によって開創された醍醐寺は、本年千百五十年の正当となります。

醍醐寺を開かれた聖宝理源大師は、奈良東大寺でご修行され三論を修めた後、真雅和尚に従い真言密教を体得され、さらに山伏の修行法を真言密教に求め当山派修験道、恵印法流の基を築かれました。

開創千百五十年記念の大法要は、醍醐寺が継承すべき三つの法流、顕教の三論、真言密教の三宝院憲深方、修験道の恵印法流を中心に執り行います。

まず初日に当たる十四日には、東大寺さまをお迎えし、金堂にて「三論」の『豎義会』を厳修します。

「修験道」としては二座の『柴燈大護摩供』を執り行います。一座目は、初日の十四日に上醍醐五大堂前柴燈護摩道場にて百丁の法螺貝をもって厳修し、もう一座は、結願日に当たる十八日に下伽藍柴燈護摩道場にて厳修します。また、「恵印法流」として、二日目の

十五日に金堂にて『恵印三昧耶法要』を醐山青年連合会が中心となって厳修します。

「真言密教」の法会としては、中日の十六日に金堂にて『庭儀舞楽大曼荼羅供法要』を厳修します。また大法要期間中、三座の『理趣三昧法要』を執り行います。この三座の法要にはそれぞれに大きな意義がございます。

まず十四日には、開山堂において『如意輪観世音供 並 醍醐寺第一世座主観賢大徳千百年忌』の法要を厳修します。「如意輪観世音供 並 醍醐寺第一世座主観賢大徳千百年忌」の法要を厳修します。「如意輪観世音供 並 醍醐寺第一世座主観賢大徳千百年忌」の法要を厳修します。さまと共に開山聖宝理源大師が自ら謹刻し祀られた正に開基に纏わる仏様であります。そして「観賢僧正」は醍醐寺第一世座主であり、後に東寺の長者をお勤めになり、空海上人への大師号下賜を醍醐天皇に上奏し、「弘法大師」下賜を得るとい

う偉業を成し遂げられた座主であります。十五日には、祖師堂にて『開山理源大師報恩謝徳』の法要を厳修します。

十八日には、金堂にて『准胝観世音供 並 中興義演座主四百回忌・第百二世文雄大僧正

醍醐寺第四百四世座主 壁瀬 宥雅

十三回忌』の法要を厳修します。「義演座主」は秀吉が醍醐の花見をした折の座主で、応仁の乱で荒廃した醍醐寺を秀吉のお力を借りて見事に再生された、正に中興の祖であります。「麻生文雄座主」は、平成の時代に二十五年間に亘り座主職にあり『和字説法』を始め多くの著作や『法味鈔』などの次第も出版されました。また能筆家として知られ多くの書も残されています。

最後になりましたが、十七日には金堂にて『真如苑』さまによる法要が執り行われます。醍醐寺第百一世岡田宥秀座主は「真如密」なる密教の位置づけを示唆されました。その後、平成九年には真如法流顕揚のため真如三昧耶堂が下伽藍に建立され相互の縁は確固たるものとなっております。

今回の五日間の法要は、醍醐寺の歴史と法流を顕彰するものであります。それぞれの法要の意義をご理解され、ご参座いただければ幸甚と存じます。

録事

▼僧階昇補

七月八日 本宗籍

八月二十八日 大律師

九月二十日 權中僧正

九月二十二日 權大僧正

七月五日 住職・主管者任命

八月五日 三河西部

八月二十五日 三河西部

八月二十五日 三河西部

七月五日 責任役員任命

八月五日 三河西部

八月二十五日 三河西部

八月二十五日 三河西部

九月一日 奈良

九月三日 奈良

九月四日 奈良

九月八日 奈良

九月十二日 奈良

九月十三日 兵庫

九月十五日 兵庫

九月十七日 新潟

宮崎

京都

北海道

大善寺

正覺院

常光院

大善寺

正覺院

大善寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

九月二十二日 徳島(直)

九月二十五日 新潟

九月二十六日 高知(直)

九月二十八日 北海道(直)

七月五日 三河西部

八月五日 三河西部

八月二十五日 三河西部

八月二十五日 三河西部

九月一日 奈良

九月三日 奈良

九月四日 奈良

九月八日 奈良

九月七日 広島

九月八日 奈良

大教院

明王院

観音寺

薬王山遍照院

大善寺

正覺院

常光院

大善寺

大照寺

十輪院

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

九月十二日 新潟

九月十三日 兵庫

九月十五日 兵庫

九月十七日 北海道

九月十九日 三河西部

九月二十二日 徳島(直)

九月二十四日 熊本

九月二十五日 新潟

九月二十六日 高知(直)

九月二十八日 北海道(直)

八月二十日 承認・証明

九月十日 承認の件

九月二十一日 山一

九月二十五日 大承

九月二十九日 愛媛

八月十九日 死亡

実相寺

正覺院

大行院

善光寺

本不動院

千手院

本藏院

大教院

常案院

明王院

観音寺

薬王山遍照院

大原

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

北村

上瑞村

小松

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

佐用

中村 善明

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

東福寺

宗派だより

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 第三回第一連絡会および
 第一連絡会・第三連絡会・第六連絡会合同研修会
 令和六年九月十八日(水) 午後一時
 浄土真宗本願寺派聞法会館三階
 親授式
 令和六年九月二十九日(日) 午前十一時
 三宝院本堂
 新住職

愛知県 大善寺・正覺院 朝岡弘道師
 萩原敏弘師
 常光院
 大僧正位階莊嚴
 弘法寺 黒岩聖教師
 北海道

末寺・教会・醍醐寺だより

理性院流許可灌頂および太元護摩伝授
 令和六年九月八日(日)、九月九日(月)
 伝授大阿闍梨・醍醐寺座主 壁瀬宥雅 大僧正
 九月八日(日) 許可灌頂入壇者 十四名、伝授受者 二十七名
 九月九日(月) 許可灌頂入壇者 二十九名、伝授受者 五十一名
 豊国忌
 令和六年九月十八日(水) 午前十一時 弥勒堂

醍醐寺文書聖教国宝追加指定調査
 令和六年九月十六日(月・祝) 九月二十一日(土) 霊宝館
 佐藤健治氏 岡村一幸氏 宮田直樹氏 青木貴史氏
 山岡史氏 永村眞氏 藤井雅子氏 飯田晶子氏
 関口真規子氏 西弥生氏 坪内綾子氏 佐藤亜莉華氏
 大松さやか氏 松島彩華氏 姜錫正氏
 東京大学大学院生一名 日本女子大学生四名
 撮影 長谷川政美

秋季彼岸会
 令和六年九月十九日(木) 午前十時 開白法要 弥勒堂 募参
 令和六年九月二十二日(日・祝) 午前十時三十分 中日法要 観音堂
 令和六年九月二十五日(水) 午前十時 結願法要 弥勒堂 募参

本庁からのお知らせ

総務部より

宗教法人の寺院・教会は、毎年会計年度終了後四月以内に役員名簿と財産目録の写しを所轄庁(都道府県庁)に提出することとなっております(『宗教法人法』第二十五条第四項)。
 この他にも、収支計算書、貸借対照表、境内建物に関する書類、事業に関する書類の写しの提出が必要となる場合があります(詳細は、真言宗醍醐派宗務本庁ホームページ又は、文化庁ホームページ参照)。
 宗務本庁では、これらの書類の写しを本庁にも提出いただくことを、宗教法人並びに非宗教法人の寺院・教会にお願いいたしております。
 また、寺院・教会は、適切な運営のため、当該寺院・教会規則に基づき、責任役員及び総代を置かなければなりません。責任役員・総代に欠員が生じた場合、任期満了になられた場合には、速やかに申請を行ってくださいますようお願いいたします。

財務部より

既に宗費賦課金の請求書を送らせて頂いておりますが、まだお手元に届いていない場合は、宗務本庁財務部宛にご確認ください。
 お手元にごございます場合は、お早目の納付をお願い申し上げます。
 醍醐寺開創千五百周年慶讃事業義納金や各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までご連絡ください。

教学部より

寺庭のつどい・准教師講座および教学研究会
 令和六年十二月十四日(土)
 法 話…真言宗醍醐派管長 壁瀬宥雅 大僧正
 特別講演…大本山石山寺座主 鷲尾龍華 僧正
 梵字悉曇伝授 第二会
 令和六年十二月十七日(火) 十二月十八日(水) 研修棟 (Zoom受法可)
 伝授・悉曇阿闍梨・種智院大学副学長 児玉義隆 僧正
 ※まだ受法のお申し込みが可能です。お問い合わせは、左下のQRコードから。
 伝法灌頂開壇
 令和六年十二月二十三日(月)
 ※入壇希望の方は教学部までお問い合わせください。
 醍醐オープンテンプル「1DAY」こころの修行体験
 令和七年三月八日(土)、同年五月十日(土)

醍醐寺からのお知らせ

教学部では、さまざまな研修会のご要望を募集しております。
 現地での開催希望の場合は宗務所単位や、ある程度の参加人数でのご相談となりますので、是非お問い合わせください。

表千家献茶式
 令和六年十一月二十七日(水) 午前十時三十分
 秋夜夜間拝観
 令和六年十一月二十二日(金) 十二月一日(日) 醍醐寺伽藍
 醍醐寺霊宝館秋期特別展
 令和六年十月十二日(土) 十二月三日(火) 霊宝館本館・平成館
 醍醐寺開創千五十年記念『文化財の継承』

修験伝法教校日程延期に伴うお知らせ

十月十一日(金) 十月十五日(火) に開校を予定しておりました伝法教校を、左記の日程に延期させていただきますことになりました。
 詳細のお問い合わせ、お申し込みについては教学部までご連絡ください。

日 程…令和六年十二月五日(木) 十二月九日(月)
 集 合… 十二月五日(木) 午後一時
 解 散… 十二月九日(月) 午後三時頃(予定)
 申込締切… 十一月十五日(金)



お申し込みはこちらから→

<p>大峯山陀羅尼助丸 花谷神変堂</p> <p>〒638-1043 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 641004 FAX (0747) 641007</p>	<p>林勘法衣店</p> <p>〒602-10874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 231122 FAX (075) 255166 E-mail hayashikan@beachocn.ne.jp</p>	<p>法衣・仏具製造及び販売</p>  <p>井筒法衣店</p> <p>600-8468 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前) Tel 075-365-0001 0120-075-730 Fax 075-353-7021</p> <p>オンラインショップはこちらから → </p>	<p>田中伊雅佛具店</p> <p>〒600-18453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 351125 FAX (075) 341188 http://www.tanakaga.com</p>
<p>松栄堂</p> <p>〒604-10857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 212155 https://www.shoyeido.co.jp</p>	<p>今井半念珠店</p> <p>〒605-10934 京都市東山区大黒町通正面南入 TEL (075) 561103 FAX (075) 525125</p>	<p>上田法衣佛具店</p> <p>〒604-10913 京都市中京区河原町二条西入上る TEL (075) 221133 FAX (075) 211185</p>	<p>土山印刷株式会社</p> <p>〒601-18308 京都市南区吉祥院向田東町14 TEL (075) 312113 FAX (075) 313185 www.tsuchiyanama.co.jp</p>
<p>和光印刷株式会社</p> <p>〒602-10012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 441154 FAX (075) 441149 E-mail info@wako-print.co.jp</p>	<p>杉本権七法衣店</p> <p>〒600-18304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 351128 FAX (075) 341167</p>	<p>山城屋文政堂 藤井佐兵衛</p> <p>〒600-18029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 351193 FAX (075) 343155 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p>大住法衣店</p> <p>〒604-18274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 221130 FAX (075) 221130 E-mail oosunihou@gmail.com</p>

伝法灌頂のお知らせ

日程：令和6年12月21日(土)～24日(火)
集合：12月21日(土) 17:00 醍醐寺修証殿
開壇：12月23日(月)
解散：12月24日(火) 16:00頃
入壇料：300,000円(支具料、食事代、諸費用含む)
申込締切日：令和6年12月10日(火)
衣体：黒衣、如法衣

[お問い合わせ/お申し込み] 総本山醍醐寺 教学部
TEL: 075-571-0002 FAX: 075-571-0101

令和7年神変宗派だより1月号
年賀名刺広告募集

- 掲載協賛金
 - ・Aサイズ(タテ13cm×ヨコ9.2cm) 30,000円
 - ・Bサイズ(タテ6.5cm×ヨコ9.2cm) 15,000円
 - ・Cサイズ(タテ6.5cm×ヨコ4.6cm) 10,000円
- 記載事項
 - ①郵便番号 ②ご住所 ③寺院名または教会名 ④ご芳名
 - ⑤公職 ⑥電話・FAX番号 ⑦メールアドレス等
- 申し込み方法

11月20日までにお問い合わせの上、広告原稿は楷書で郵便または、FAXにてお申込みください。
- 送付先

真言宗醍醐派宗務本庁 年賀名刺広告係まで